

温故知新

ヒートアイランド現象

地球温暖化による影響について

人間活動に伴う二酸化炭素等の温室効果ガスの排気量増大により、地球温暖化が問題になっています。これまでの百年間に世界全体の平均気温は〇、七度上昇しています。また、平均気温の上昇ばかりでなく、熱波、大雨、干ばつ等の極端な気象情報が増える事となります。

地球温暖化により、熱中症や感染症のリスクが増大する他、農業、沿岸域、水資源、自然生態系等に様々な影響が現れます。

それに伴い、ヒートアイランド現象（都市部の気温がその周辺の非都市部に比べて異常な高温を示す）が近年問題視されています。二十一世紀末には一、八〜四度上昇し、気温が三十度を超える真夏日（日最高気温が三十度以上の日）や熱帯夜の日数が増加する傾向があり、今後もさらに増加すると考えられています。

東京都を例にとると、真夏日は一九八〇年代に比べ、およそ一、七倍に、熱帯夜はおよそ一、八倍に増加しています。大都市では早朝から日没まで三十度以上の時間が続くために熱中症の危険性が高くなっています。高温により自然環境が影響を受け、住民の生活や健康にも影響を及ぼすことになるのです。



《今号の主な内容》

- P① ヒートアイランド現象
- P② 熱中症について①
- P③ 熱中症について②
- P④ 研究会・職長会
- P⑤ 実技講習会
- P⑥ 連絡帳



発行

野田工業株式会社

東京都中央区銀座6-6-19

花菱ビル5F

TEL: 03-3572-1866

FAX: 03-3575-0420

熱中症の発生は、例年、梅雨入り前の五月頃から報告が見られ、梅雨明けの七月下旬から八月上旬に多発する傾向があります。人が上手に発汗できるようになるためには慣れが必要ですから、暑さに慣れるまでの間に熱中症を起こしてしまわないように注意することが重要な対策です。暑い環境での運動や作業を始めてから三～四日経つと、汗をかくための自律神経の反応が早くなって、人間は体温上昇を防ぐのが上手になってきます。さらに、三～四週間経つと、汗に無駄な塩分をださないようにするホルモンが出て、熱痙攣や塩分欠乏によるその他の症状が生じるのを防ぎます。このようなことから、熱中症になる人は、久しぶりに暑い環境で活動した人や作業の初日に多いのです。

熱中症になったときには何をすべきか？

熱中症は死に直面した緊急事態であることをまず認識しなければなりません。重症の場合は救急隊を呼ぶことはもとより、現場ですぐに体を冷やし始めることが必要です。

① 涼しい環境への非難

- ・ 風通しのよい日陰や、できればクーラーが効いている室内などに避難させましょう。

② 脱衣と冷却

- ・ 衣服を脱がせて、体から熱の放散を助けます。
- ・ 露出させた皮膚に水をかけて、うちわや扇風機などで扇ぐことにより体を冷やします。
- ・ 氷嚢などがあれば、それを頸部、脇の下、大腿の付け根、股関節部にあてて皮膚の直下を流れている血液を冷やすことも有効です。
- ・ 深部体温で40℃を超えると全身麻痺（全身をひきつける）、血液凝固障害（血液が固まらない）などの症状も現れます。
- ・ 体温の冷却はできるだけ早く行う必要があります。重症者を救命できるかどうかは、いかに早く体温を下げることができるかにかかっています。
- ・ 救急隊を要請したとしても、救急隊の到着前から冷却を開始することが求められます。

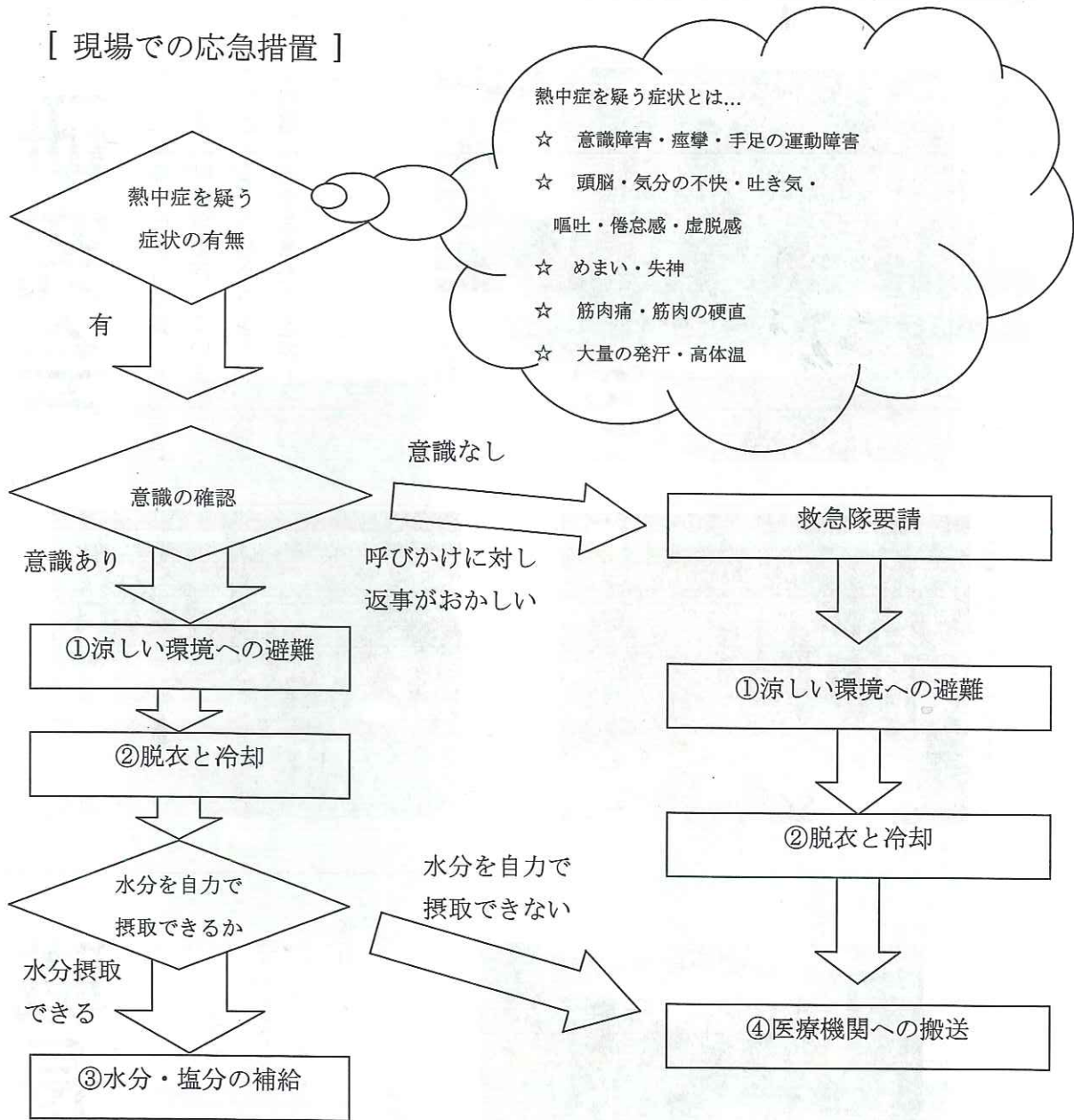
③ 水分・塩分の補給

- ・ 冷たい水を与えます。冷たい飲み物は胃の表面で熱を奪います。大量の発汗があった場合には汗で失われた塩分も適切に補えるスポーツドリンクなどが最適です。食塩水も有効です。
- ・ 応答が明瞭で、意識がはっきりしているなら、水分の経口摂取は可能です。
- ・ 「呼びかけや刺激に対する反応がおかしい」、「応えない」（意識障害がある）時には誤って水分が気道に流れ込む可能性があります。また「吐き気を訴える」ないし「吐く」という症状は、すでに胃腸の動きが鈍っている証拠です。
- ・ これらの場合には、経口で水分を入れるのは禁物です。

④ 医療機関へ運ぶ

- ・ 自力で水分の摂取ができないときは、緊急で医療機関に搬送することが最優先の対処方法です。

【現場での応急措置】



温度基準(WBGT)	注意すべき生活活動の目安	注意事項
危険 (31℃～)	すべての生活活動でおこる危険性	高齢者においては安静状態でも発生する危険性が高い。外出はなるべく避け、涼しい室内に移動する。
厳重警戒 (28～31℃)		外出時は炎天下を避け、室内では室温の上昇に注意する
警戒 (25～28℃)	中等度以上の生活活動でおこる危険性	運動や激しい作業をする際には定期的に十分に休息を取り入れる。
注意 (~25℃)	強い生活活動でおこる危険性	一般的に危険性は少ないが激しい運動や重労働的には発生する危険性がある。

研究会

野田工業(株)では毎月職長会がある日のお昼に研究会を行っています。毎回このような研究会を行い、施工や現場に対する事などを話し合っています。



職長会

四月二〇日の職長会風景です
この時社内報第一号刊を皆様にお配りしました(当日会場に忘れた方もいましたね)



5月10日第1回実技講習会を野田工業㈱野田倉庫で行いました。

指導員の(有)尾形保温 尾形和三氏 今井板金工業所 今井孝正氏に加え、(有)新井工業所 新井光義氏 小林断熱 小林裕一氏 野田工業㈱ 神尾常務に指導していただきました。



今井氏による見本作り



板金作業の指導中



仲間同士での知識交換



神尾常務も指導していました



尾形圭介君も一生懸命でした



尾形氏による指導風景

町田裕

前原孝博

古川康二

田村謙次

関根透

杉浦裕人

幸地邦夫

尾形圭介

石井誠司

(アイウエオ順)

出席者名



れんらく帳

平成21年度（前期）国家検定熱絶縁施工
（保温保冷工事作業）技能検定受験に関するご案内

第2回目は下記の通りです

【日 時】第2回 5月31日(日)

9:00 ~ 16:00 を予定しております。

【場 所】野田工業(株) 野田倉庫 千葉県野田市目吹 2375 番地

今回、(株)NODAST の田村君が一級技能士の試験を受験する
事になりました。

[コメント]

頑張る以外にないのでとにかく頑張ります！頑張ります！！頑張ります！！！！ だそうぞす(笑)



東京郊外からの

東京タワーの見え方に異変か!!

半世紀近く富士山と東京タワーの目視観測を
続けている中学校ではここ数年、富士山を眺める
日数に大きな変化はないが、東京タワーの見える
日数が増えたという。観測所では
都心の ヒートアイランド現象
が影響しているそうです。



南極はどこ国のもの??

7つの国が「南極の一部は自分の国のものだ」と
主張していました。しかし、1959年南極条約というルールが
決まり、これらの7つの国はこれまで主張してきた場所以外を
自分の国の領土だと主張できなくなり、実際にどこかの国のものになる
ことはありません。この南極条約というルール下で、南極は
世界の国々平和に利用しているのです。

